

## 南相馬からの便り 8 自ら行動しよう！善人の沈黙が日本をダメにする

8月1日から開いていた屋外遊び場が、夏休み最終日の26日、無事終了しました。

春休みとゴールデンウィークに屋内遊び場を開いたメンバーが、結果として、本当に子どもたちが生きいきとするには屋外遊び場が必要という強い思いに突き動かされ夏休みの屋外遊び場にチャレンジしたのです。名づけて「みんな共和国・手のひらを太陽に大作戦」。

初めは、屋外遊び場づくりを公言することにメンバーの中でも意見が分かれました。親たちから常識という非難が集中するかもしれないという恐れと、その逆で、自分たちの行動が「南相馬はもう安全ですよ！」という安易な宣伝に使われる恐れがあるのではないかという意見があり、何度も話し合いを続けました。しかし、新しく参加してくれたお医者さんたちから、屋内に囲い込まれている子どもたちの健康と発達状態が危機的状況にあるということを知られ、屋外遊び場運営に踏み切りました。放射能汚染が消えたわけではないこと、この状態が続くということをしちんと踏まえて新しい暮らし方を作らなければならないと考えているからこそその行動でした。

メンバーが最終的に確認し合ったのは、「親の責任で屋外遊びに参加すること」でした。具体的には「自分たちで放射線量を測り安心できる遊び場を自分たちの手で作る」でした。場所は除染の終わった公園を市から借りることができましたが、自分たちで確かめようと7月初めから広報紙で呼びかけ、独自に放射線量の測定と清掃を繰り返しました。集まったのは、多くが春休みに屋内遊び場に参加した親たちでした。子どもの遊ぶ姿から、一歩踏み出す勇気をもたらしたのです。この輪の広がり、Tajaの菜穂さんが子どもたちのためにみんな共和国のテーマソングをプレゼントしてくれるという思いもかけない嬉しい発展をも生み出しました。

資金ゼロ（後に多くの方々からの援助をいただきました）、手作りという前と同じ条件でのスタートでしたが、今度はそれが、どれほどワクワクするかをみんな知っていたので、8月1日には何も準備されていない原っぱに、笑顔いっぱいの子どもと、子どもを持つ大人がたくさん集まりました。ブランコ、滑り台、プール、ハンモック、吊り橋、渡りロープ、そして、恒例の高い高いジャンプタワー。毎日が、大人と子どもが入り乱れて「街の建設」です。「みんな共和国」と名付けられたこの活動は回を重ねるごとに県内外からも注目され、プレーリーダーや大学生の参加も増え、アートのワークショップや高校生による化学教室なども開かれました。

今回は特に、会場となった高見公園が、関東大震災の第一報をアメリカに伝えた高さ約200mのコンクリートの無線塔の跡地であることにちなんで、ペットボトルを集めて縮尺50分の1のミニ無線塔作りにも挑戦しました。完成したのは25日の夜、色とりどりの蛍光リングで飾ったガラスのような塔が懐中電灯で照らし出されると「ウワーッ！」というため息とも歓声ともつかない声があがり一体感に包まれました。みんなの力が結集するとすごいことが出来るということを実感した瞬間でした。

私たちは、経済最優先の社会構造が、こんどの原発事故では、なんの役にも立たなかったという経験をしました。既存の権威と社会システムがなんにも機能しなくなった南相馬で、生きのびるということがどういうことかを体験しました。それから一年半が過ぎた今、＝俺達は一度死んだ。そして、新しい自由を獲得した＝という声がかかるようになっていきます。南相馬が多くの人を惹きつけるのは、そのことに目覚めた若者たちが動き出しているからだと思います。混沌のなかでそれぞれが未来を信じて、あるいは未来を創るために、さらに言えば次の世代に未来を繋ぐことを使命として・・・そんな想いを持ちながら様々な活動を始めているからです。何もなくなったまちで生きるから、ゼロからまちを創ろうという気持ちが芽生えてきています。

そのエネルギーの根幹が「生命の原動力」です。それは、誰にでも、どの場所にもあるものです。若者たちに自分の中にあるそのエネルギーを信じて素直にそれに添って生きていいんだと気付いてほしいと願っています。若者だけでなく、大人たちにもそういう生き方を選ぶ勇気を持ってほしいと願っています。私が発信を続けているのは、南相馬の悲惨さを伝えるためではありません。人間にはどんな状況になっても生き続けようとする生命の原動力があるということを知ってほしいからなのです。自分の中にある生命のエネルギーを感じて、それに添った生き方を見つけてほしいと願っているからなのです。既存の、力による経済システムに本能的に息苦しさを感じている若者や大人たちが集い、新しいまちを創り出してゆく、南相馬がそんな場所になることを夢見ています。

しかし、早くも外側では原発再稼働が容認されてしまいました。「善人の沈黙」が日本をダメにしようとしています。一緒に動いている女性が、昨日こんなことを言いました。＝一人革命だよ。＝

彼女は、待っていても何も起こらない現実にたまらず、自分でキッチンカーを購入し、仮設住宅で人の輪を作りたいと行動を始めました。**脱受身です。**

革命は静かに始まっています。あなたも、自分革命に参加しませんか？

南相馬はあなたを待っています。

2012年8月27日

高橋美加子

## みんなのうた

～南相馬 みんな共和国テーマソング～

詞：菜穂 (Taja) & 松本梨香

曲：nappomama

さあ みんな夢の中へ  
おいで おいで おいで  
ぼくたちの楽園 みんなのうた

コトバにできないこと  
たくさんあるよね

だけど君は昨日を 超えてここに居るんだ

さあ みんな夢の中へ  
おいで おいで おいで  
手作りの楽園 ぼくらのくに

あの日観てた夕日と  
おんなじ色だね

きっと君は明日を 生きるために居るんだ

タンポポの綿毛は風に乗り  
遠い場所から トモダチを連れてくるのさ

さあ みんな夢の中へ  
おいで おいで おいで  
ずっと続くといいな ぼくらのくに

さあ みんな夢の中へ  
おいで おいで おいで  
笑顔繋いでゆこう ぼくらのくに

ぼくらのゆめ

みんなのうた